

幸福町・垣内町地区 まちづくり用地 活用事業の基本協定を締結

10月19日、市は住友不動産(株)と京阪電鉄不動産(株)、ミサワホーム(株)の3者グループと基本協定を締結しました。地元企業や地域住民と協議をすすめながら、さらに魅力あるまちづくりを実現します。

宮本市長は、「本市の顔となる今回のまちづくりは、多くの市民にとっての関心事です。事業者の皆さまが持つ技術やノウハウを最大限活用させていただきながら、エリアマネジメント活動などにより、ともにエリアの価値や地域力を向上させたいと考えています」と話していました。

また、代表法人である住友不動産(株)の細川隆司関西支店長は、「市をあげての大きなプロジェクトに携わることができ、大変光栄です。『幸福町』という名にふさわしい、新しいランドマークとなる場所にしたいです」と意気込んでおられました。



左から、京阪電鉄不動産(株)山内徹郎取締役副社長、宮本市長、住友不動産(株)細川隆司関西支店長、ミサワホーム(株)佐藤徹執行役員

まちの新たな玄関口 古川橋駅北側エリア

共同住宅と民間提案施設を西側に配置し、古川橋駅から幸福町公園にかけて「賑わいの輪」と「学びの輪」の2つの広場を配置します。また、敷地内周辺に歩行者が回遊できる通路を作ることで、商店街との共存をはかり、まちのにぎわいを創出します。

問合せ先 地域整備課 ☎06(6902)6311

災害時の防災広場としても利用可

災害発生時は、地域住民の避難や救護に学びの輪と賑わいの輪、キッズスペースを防災広場として開放します。また、浸水災害時は賑わいの輪の屋上キッズエリアを避難所として開放します。

学びの輪

円墳がモチーフの遊具を設置した子どもたちが自由に遊べる緑豊かな広場です。お祭りやイベントなどの活動拠点にもなります。



共同住宅

地上41階、高さ約138m、全567邸の大規模・超高層タワーマンションです。モノトーンを基調としたデザインで市の新しいランドマークになります。



賑わいの輪

子どもたちが自由にあそび学べる屋外広場です。ひさしがあるので全天候に対応していて、屋上のキッズエリアは誰でも自由に行き来できます。



生涯学習複合施設

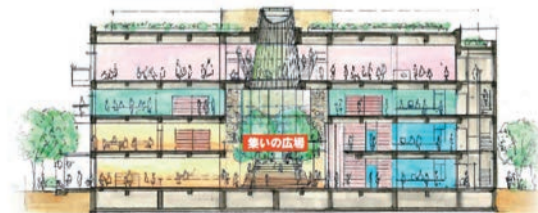
図書館と文化会館の機能をあわせもつ都市景観におけるランドマークとしての役割をもつ施設です。多くの人が文化・学習活動を行えるよう支援するとともに、地域の新たな出会いと交流を創出し、地域コミュニティの活性化を図る場所となることをめざし、2025年度の開館に向けて整備を進めています。



イメージ

こだわりの空間

多様な交流を促進する「賑わい」機能と学びと活動が両立する「落ち着き」機能、学びを深める「集中」機能などを備えた、さまざまな利用できる施設をめざします。



賑わいゾーン 落ち着きゾーン 集中ゾーン キッズゾーン
イメージ



※概要提案書をもとに作成。計画は変更になる場合があります